平成２２年度 福井県立福井南養護学校 スクールプラン　－教職員向け－

明るい子　強い子　働く子（地域で生活できる子）

方針：個別の教育支援計画の活用

【学校教育目標】

・児童生徒一人一人の障害の状況・発達段階を把握し、課題をふまえ個に応じた教育の開発に努める。
・児童生徒の興味関心・自発性を生かし、生活に即した体験学習の充実に努め、社会生活の円滑化を図る。

・児童生徒の実態やニーズに即した教育の改善・充実のため、家庭、地域、福祉・医療・労働などの諸機関との連携を深める。

・地域における特別支援教育のセンター的役割をはたすため、教育相談活動などを充実させ、開かれた学校づくりを推進する。

児童生徒への指導・支援にかかわること「授業改善」「校務改善」

保護者や地域との連携にかかわること

資質の向上

【重点目標】

1　教育課程、学習指導、生活の指導（各学部・寄宿舎）

個別の教育支援計画・指導計画とつながる授業や生活改善

小：児童に適した自立活動の内容や方法を工夫し、実践する。
中：自立活動のねらいを意識した授業改善に取り組む。
高：社会生活をしていく上で、生徒が直面する課題に対応するための授業作りを充実させる。
舎：豊かに生活する力を身につけさせる。

2　組織運営（校務分掌）

授業や生活を支えるための校務運営のありかた

授業や生活を支えるという視点での効率的な業務遂行に向けての改善に取り組む。

3　保護者との連携

（渉外部）

参加しやすいPTA事業の運営を目指す。

4　地域支援

（地域支援部・図書研究部）

地域のニーズに沿った地域支援を行う。

5　組織運営

（学校管理）

スクールプランの自覚と実践

具体的取組（小学部）

「人間関係の形成」を目指した指導内容の充実と方法の工夫に取り組む。

具体的取組（中学部）

自立活動の「時間における指導」の内容や方法の見直しを図ると共に、「配慮して行う指導」のねらいや方法などの検討に努める。

具体的取組（高等部）

社会生活をしていく上で必要な課題を、金融教育や金銭教育などの視点で捉え、授業作りに取り入れる。

具体的取組（寄宿舎）

余暇の過ごし方の広がりを目指した活動の内容や方法を子ども・家庭に提供する。

具体的取組

学部校務と学校校務の兼ね合いを考慮した校務分担を行い、各自が校務遂行の工夫や改善に取り組む。

具体的取組

保護者がPTAの余暇活動や奉仕活動に年1回以上参加できることを目指す。

具体的取組

地域の特別支援学級担当者のニーズに合わせ、「自閉症に対応した教育課程の編成等についての実践研究」における平成21年度の成果をもとに研修会や公開授業研究会などを行う。

具体的取組

スクールプランを踏まえた目標管理を試行する。